

(報道資料)

2018年12月25日

NHK広報局

土地交換の合意について

埼玉県川口市にある、さいたま新産業拠点SKIPシティの活用に向けて、NHKは、NHKが所有するC街区の土地およそ2.4万㎡と、川口市が所有するB街区の土地および埼玉県が所有するB街区の一部の土地を交換することで、川口市および埼玉県と合意することになりました。来年1月以降に基本協定を交わし、手続きを進めていきます。

土地の交換は等価交換を目指し、NHKが取得するB街区の敷地の広さは、およそ2.2万㎡となる見込みです。SKIPシティA街区には、NHKアーカイブスが開設されており、土地交換でA街区と隣接するB街区を取得することで、より効果的な活用ができると考えています。この敷地に整備する施設の詳細については、およそ1年をかけて検討し、2025年度中の運用開始を目指します。

SKIPシティについては、地元の川口市や埼玉県から新たな活用を要望されていました。土地交換の手続きなど合意内容の具体的な事項は、今後、川口市および埼玉県と協議して定めます。

以上

(参考)

SKIPシティの概要

川口市のSKIPシティは、埼玉県と川口市が、NHKラジオ第一放送所の移転後の跡地を活用して、映像産業などの次世代産業の導入、集積に取り組んでいるものです。SKIPシティは川口市のほぼ中央に位置し、埼玉高速鉄道の鳩ヶ谷駅から約1.4キロと都心からの交通利便性もあり、NHK放送センターのある東京・渋谷からは車で1時間ほどです。

整備が進んでいるA街区のほか、B街区、C街区、D街区の4つのエリアに分かれています。

A街区には、すでに2003年にNHKアーカイブスのほか、埼玉県産業技術総合センターや映像関連施設の「彩の国ビジュアルプラザ」、川口市立科学館などの行政関連の施設がつくられています。

B街区（約3.3万㎡）は、映像産業などの集積を目指して、川口市が約1.6万㎡、埼玉県が約1.7万㎡をそれぞれ所有していますが活用は進んでいません。

C街区（約2.4万㎡）とD街区（約2.8万㎡）はNHKが所有しています。C街区の多くは川口市に貸与し、地域のスポーツ広場として使われています。

D街区には、㈱放送衛星システムの衛星管制施設などがあります。

<略図>

